

## 中濃農林事務所の普及活動状況

令和2年4月30日現在

### 今月の重点活動

#### ■農事組合法人美濃種子 設立総会の開催

4月19日にJAめぐみのグリーンメックにおいて、県内に優良な種子を生産出荷してきた美濃市採種組合を前身とした「農事組合法人美濃種子」の設立総会が開催された。

平成30年度に法人化検討チームを発足し、現状の組織の課題整理や法人化の必要性等について検討を重ねてきた。この日は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、書面決議での開催となったが、新法人として組合員48名での設立となった。

農業普及課では、法人設立後の安定した組合運営に向けて、今後も関係機関と連携しながら、継続して支援していく。



【書面を数える発起人】

(地域支援係)

### 多様な担い手づくり

#### ■女性農業経営アドバイザー 管内では1名が新規認定

農業経営改善に意欲的に取り組み、地域の活性化や女性の社会参画等に中心的な役割を果たしている農業女性を「岐阜県女性農業経営アドバイザー」として知事認定している。

本年度、管内から関市内で農業の6次産業化に取り組む女性経営者が新たに認定されてメンバーに加わり、4月10日は中濃農林事務所長から認定証が交付された。

農業普及課では、今後も企画運営面から参画し、活発なアドバイザー活動に向けて支援していく。



【認定証交付の様子】

(地域支援係)

#### ■JAめぐみの実証圃場 第1回月例ミーティングの開催

JAめぐみでは、管内で生産される主要品目を実証栽培し、得られた成果の最大限の活用を図る取り組みを行っており、栽培技術の実証のほか、営農指導員の育成研修や新規就農者に対する技術習得の場としても活用されている。

4月7日に第1回月例ミーティングが開催され、実習生をはじめ実習指導員、JA関係者、関市、農業普及課が参加した。会議では、JAから本年度の研修課題・計画を報告し、今後の作業計画等について検討を行った。

農業普及課からは研修終了後を見据えた実習生の就農準備活動についてアドバイスし、新規就農に向けた関係機関の一体的な支援を確認した。今後も、毎月ミーティングに参加し、実証圃場の運営を支援していく。



【会議の様子】

(地域支援係)

## 売れるブランドづくり

### ■施設園芸（ほうれんそう、小松菜） 土壌物理性調査の実施

4月7日と9日の両日、ほうれんそう、小松菜等を栽培している関市内の生産者圃場において、土壌の物理性調査を行った。

調査では、植物根の伸張の難易、透水性、通気性などに影響する土壌硬度を貫入式土壌硬度計を用いて測定するとともに、圃場を掘って土壌断面を観察した。生産者自身が実際に土壌断面を確認し、指で押して土壌の硬さや根の伸長状態を把握することにより、生育不良の原因や今後の栽培管理方法の検討につながった。

農業普及課では、今後も、土壌の物理性や化学性の調査等を通じて、生産者の栽培技術向上への支援を行っていく。



【土壌物理性調査の様子】

（地域支援係）